

# 福島第二原子力発電所 1号機 圧力抑制室内の点検の完了について

福島第二原子力発電所1号機は、8月26日から10月10日にかけて、圧力抑制室内の内面および構造物について水中作業による目視点検を実施しました。

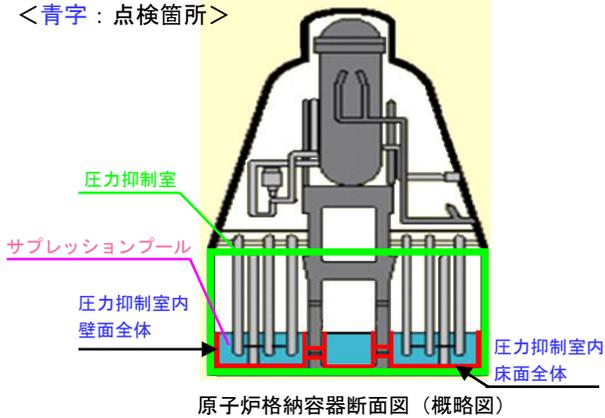
点検の結果、各点検箇所に変形や損傷等の異常は確認されませんでした。また、圧力抑制室内の内面および構造物の表面の一部に、塗装の剥離や錆が認められましたが、いずれも同室の機能に影響を与えるものではありませんでした。

なお、以前に圧力抑制室のサプレッションプール水温度検出器の点検で使用していたLEDハンディライトが、サプレッションプールに落下したことを公表（2013年11月28日）しておりましたが、今回の点検で発見、回収しています。

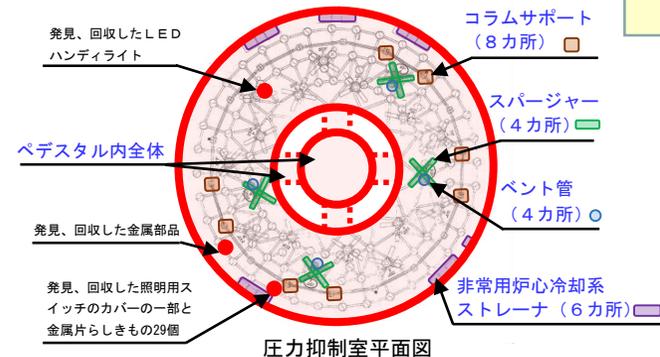
## ●点検範囲および点検結果（写真）

ダイバーがサプレッションプールに潜水し、目視点検を実施しました。

<青字：点検箇所>



原子炉格納容器断面図（概略図）



コラムサポート



スパージャー



ベント管



非常用炉心冷却系ストレーナ

～塗装の剥離が確認された床面や壁面については、塗装補修を実施しました～



床面（補修前）



床面（補修後）



壁面（補修前）



壁面（補修後）

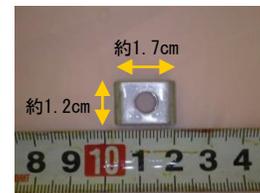
## ■確認した異物について



①照明用スイッチカバーの一部（8月27日発見・回収）



②金属片らしきもの29個（8月27日発見・回収）



③金属部品（9月4日発見・回収）

○これらによる圧力抑制室の機能や設備への影響はありません。  
○異物が混入した原因等については、今後取りまとめてお知らせします。



回収したLEDハンディライト（8月31日発見、回収）

福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は引き続き安定した燃料の冷却を継続してまいります。